

令和2年度地方創生ストリートミーティング（農林水産業の若者編）
意見と回答・対応方針

No	区分	ご意見・ご要望	各課回答・対応方針	担当課
1	農業	種をまいて、芽が出て、肥料をやって、水を撒いて、作物が取れるという一連の作業をするなかでこれが農業だと実感できるので、私は農業が大好きである。しかし、農業に若い人少ないというのは、結果がすぐ見えないからではないだろうか。	農業の魅力を一人でも多くの方に伝えるとともに、新たに農業に取り組む方が就農された際に、中長期の視点で農業経営を考えていただけるよう、関係機関と連携して丁寧な情報発信や相談支援に努めます。	農政企画課
2	農業	農業が楽しいかといえば、今はあまり楽しくない。理由は2つ。 1つ目は、新規就農者はしなくてはならないことがとても多い。雇用を少しずつ進めているが、作業が多くて仕事が回らないこと。 2つ目は、作物を作るためのハウスを建てるにはお金が必要だが、このお金を生み出すだけの規模を作るにはまたハウスを建てる必要があるというジレンマがある。人を増やして自分が楽になってくると、楽しくなるのかなと思っている。	農業経営の安定に向けて、日々多くの仕事をこなしておられるものと推察します。市といたしましても、融資や補助などの各種支援制度を設けて、新たに就農された方の負担を少しでも軽減しようと取り組んでいるところです。体調管理にも気を付けていただきながら、農業経営に取り組んで頂きたいと思います。	農政企画課
3	農業	農業を始めた理由は3つ。 1つ目は、自分は農家の息子だが、祖父母からは農業はもうからないと聞いていた。しかし、やり方が間違っているのでは考えていたこと。 2つ目は、儲けている農家があることが分かり、やり方しだいであることが分かってきたこと。 3つ目は、自分は都会からUターンしてきたが、都会は息苦しく精神をすり減らす。しかし、鳥取は自然があふれており、心惹かれて帰ってきた。	都会からふるさと鳥取にUターンされ、外から見た鳥取の強みや弱みを経営に取り入れられているものと推察します。「農業はやり方しだい」は大変示唆に富んだご意見です。先輩世代の知見に、若い世代の新たな知見を加え、本市の農業が活性化するよう取り組んでいきたいと思っています。	農政企画課
4	農業	人口が減っていく中で、地方に雇用を生み出すとか、大規模な法人を作って中山間地を管理するとか、本当に現実的なのかと思っている。自分は専業農家として農地を守りたいと思っているが、兼業の方にも本気で参加していただかないと農地が荒れていくのではないかと考えている。	農地の保全には専業農家・兼業農家に関わらず、地域の関係者の力を結集して取り組むことが必要と考えます。市も関係機関と連携して、地域の取組みを支援していきたいと思っています。	農政企画課
5	農業	集落にある橋が豪雨のたびに被害を受けて、流されたり、傾いたりしている。直してほしいと言っても、対応してもらえない。よそから人に来てくださいと言っても、今ある橋は維持しておかないといけない。	本市では、木橋の架け替え工事を年次計画的に実施しており、長柄地区から改修の要望をいただいている「村中橋」については、概ね令和3～6年度を目標に事業実施する予定となっています。（陳情要望回答済み 平成29年6月）	道路課
6	農業	鳥取県内で売ると首都圏で売るのは、同じものでも単価が倍近く違う。通販には取組んだ方がいいと思う。		農政企画課
7	農業	鳥取県の農産物はすごくいいと思う。どんどん通販で農産物を出していけたら、鳥取県の農産物はおいしいんだという認識が広がっていくと思う。	近年インターネットの普及により、農産物の生産・流通・販売に係る選択肢が大幅に増加しています。スーパーマーケットや直売所、レストランへの直接販売、産直通販、契約販売、市場出荷など、農業の多様化が進みつつあり、今後、更に進むものと考えられます。	農政企画課
8	農業	自分は通信販売で東北の野菜や魚のパックを購入しているが、一緒に小冊子が送られてくる。生産者のことが徹底的に取材がされていて、どのような方がどのように作っているのか、どういったストーリーがあるのかということがわかるものとなっている。通信販売で取寄せをする人は、自分の食べるものに対する意識も高いので、生産者の顔が見えるということに需要があると思う。	市では、農業＝農作物生産、だけではなく、加工、流通や販売も含めた、食に関する広い分野でのビジネス展開も視野に、必要は支援を検討してまいります。	農政企画課
9	林業	山を管理するうえで、もう少し機械化できたら楽になると思う。体制が人に頼り過ぎているように思う。自分なりにどうしたらそれが解決するのかなと思いながら仕事をしている。	森林整備の促進に向けて、林業労働環境の改善、生産コストの軽減が必須であり、そのためには林業作業の機械導入は重要な取組となります。本市においては、国県の事業を活用しながら、林業事業体の高性能林業機械の導入補助を行っており、引き続き支援を行っていききたい考えます。	林務水産課
10	林業	地元の人や子どもたちが遊べる山が増えたらいいと思う。東部森林組合では、竹林整備をした後に、子どもたちに植樹をしてもらっている。植樹してくれた子どもたちは、その後の樹木の様子を気にして声をかけてくれたり、喜んでいることがわかる。こういった形で、もっと山に人が入るようになれば、荒れている山は無くなっていくのではないかと考えている。	小さいうちから、山、森林等と触れ合う機会を創っていくことは、重要な取組と考えます。本市においては、園児を対象に苗木を育て植林体験を行う「森の教室」などで、子ども達が森林に触れ合う機会の創出も行ってきておりますので、引き続きこのような取組みを増やしていきたいと考えます。	林務水産課

令和2年度地方創生ストリートミーティング（農林水産業の若者編）
意見と回答・対応方針

No	区分	ご意見・ご要望	各課回答・対応方針	担当課
11	水産業	今後の状況を良くしていくにはインターネットなどITの活用は必須と思う。他県の成功事例を調べたり、成功者とSNS等を通じて知り合いになることもでき、以前と比べて情報を得やすい環境にある。他県でもっと漁獲量が多い違うやり方をしている情報を取り入れたりすることができる。	インターネットの普及により、欲しい情報が拘束にして大量に得られるようになっています。こうした情報を有効に活用することは重要なことです。一方で、熟練漁業者の長年の経験により習得した技術やノウハウ、判断力も実際の現場では必要となります。 市としては、基礎的な技術や、匠の「勘」や「コツ」を習得するための研修制度の充実、スマート農林水産業の普及を図っていきたいと考えています。	林務水産課
12	農業・水産業	市内のどこからでも超高速インターネット接続ができるようになる「全市域ひかり化」は、ネット販売など販売方法が広がり、また情報収集にも活用できるので、大変ありがたい。	基本計画の施策に「地域情報化の推進」を位置付け、情報インフラの充実を推進します。	情報政策課
13	農業・水産業	農業でも漁業でも、個人で薄利多売の商売はできないので、単価を上げていくことが必要と思う。6次産業化などチャレンジしていくことが大切と思う。	6次産業化に向けた取り組みの際は、鳥取県と連携した支援制度もありますので、ご相談ください。	農政企画課 林務水産課